第180号
令和８年(2026年)11月

あなん

市議会だより



市議会９月定例会から

○令和８年度一般会計補正予算
７億9880万円の追加を可決

編集：議会だより編集委員会　発行：阿南市議会　〒774-8501 徳島県阿南市富岡町トノ町 12 番地３
TEL 0884-22-3399　FAX 0884-22-9225　E-mail　gikai@anan.i-tokushima.jp

阿南市議会 HP
２次元コード

表紙：海正八幡神社の秋祭り



９月定例会のようす

9月定例会の概要

9月定例会は9月1日から9月30日までの30日間の会期で開きました。

今議会では、条例の制定議案3件、条例の一部改正議案4件、補正予算議案2件、決算認定議案19件、その他の議案4件、人事議案2件の計34件の市長提出議案、請願1件を審議しました。その結果、市長提出議案はいずれも原案のとおり可決、認定、同意、適任と決定しました。

また、請願1件は採択と決定しました。※全会一致にならなかったことから、意見書の提出はいたしません。

9月定例会日程（会期30日間）

1日（火）開会
会議録署名議員の指名、会期の決定、議案の上程
9日（水）市長提出追加議案の提案理由の説明、一般質問
10日（木）一般質問
11日（金）一般質問、議案質疑、委員会付託、決算審査特別委員会の設置及び委員の選任、委員会付託
14日（月）産業建設委員会
15日（火）文教厚生委員会
16日（水）総務委員会
24日（木）決算審査特別委員会
25日（金）決算審査特別委員会
30日（水）閉会
各常任委員長報告、決算審査特別委員会審査報告、質疑、討論、採決、人事議案の提案理由の説明、採決、閉会中の継続調査

同意した人事議案

○人権擁護委員
湯浅和彦（熊谷町）

討論

○第14号議案　令和7年度阿南市一般会計歳入歳出決算の認定について
反対　1名
広浦雅俊
賛成　1名
橋本幸子

12月定例会の予定

12月1日(火)開会
12月9日(水)一般質問
12月10日(木)一般質問
12月11日(金)一般質問・議案質疑
12月14日(月)委員会
12月15日(火)委員会
12月16日(水)委員会
12月21日(月)採決・閉会

日程は変更になる場合があります。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。
☎22－3399





広浦雅俊 議員
ひろうら まさとし

小中学校の整備について

Q いつまで使用し、いつ建て替え、あるいは※2長寿命化改修を行うといった、学校施設の更新計画やロードマップを策定しているのか。

A 現在、全ての小中学校を対象とした具体的な施設更新計画は策定していないが、築50年以上の施設も多いことから、今後は学校再編の状況を見極めながら、施設全体の計画的な更新について検討を進めていく。

Q 複数の学校について、再編を考慮しつつ、設計、建設などを同時並行で進める必要があると考えるが、市の見解は。

A 現在、進めている学校再編の進捗を見極めつつ、更新対象となる複数の施設については、長寿命化改修を併用することで重複する更新時期のピークを分散させるなど、より効率的かつ効果的な施設更新の計画を検討していく。

その他のQ&A

- ○財政
- ○立地適正化計画の見直し
- ○阿南市南部地域における認定こども園の整備
- ○ゴミ処理施設
- ○選挙事務と投票環境

映像配信



平山正光 議員
ひらやま まさみつ

水道行政について

Q 機械、電気設備の※1包括的民間委託の仕様書等に災害対応等が盛り込まれているのか、また災害時における市と民間事業者の役割分担はどうするのか。

A 仕様書には平時から24時間の設備監視と迅速な情報共有・一次対応ができる体制を整えることを定めている。また、民間事業者と連携した災害時対応マニュアルの整備や防災訓練の実施に向けた協議を進め、役割分担を明確にし、有事の際にも即応できる強固な官民連携体制を構築していく。

Q 本市の水道行政への方針と今後の取り組みは。

A ハード面の耐震化と、DX技術や官民連携による迅速な復旧体制を両輪として進め、災害時にも安全・安心な水を安定供給できる強靱で持続可能な水道システムの構築に取り組んでいく。

その他のQ&A

- ○体育館の空調設備整備
- ○若年女性に選ばれるまちづくり
- ○小学校統合問題
- ○認定こども園
- ○消費税率の引下げ

映像配信

令和8年 9月定例会

代表質問ダイジェスト

代表質問は９月９日に３人の議員が登壇し、活発な議論を展開しました。

代表質問とは

3人以上の所属議員を有する「会派」の代表者が、市政の重要課題や市長の施政方針に対して会派を代表して質問する仕組みです。

代表質問（75分）



登壇議員	ページ
平山　正光 議員（あなん至誠会）	3
広浦　雅俊 議員（みらい阿南）	3
橋本　幸子 議員（市民クラブ･子どもと未来の会）	4



二次元コードを読み取ると、各議員の質問の様子をご覧になれます！

議会メモ

※2　長寿命化改修

老朽化した施設を、将来にわたって長く使い続けるため、単に物理的な不具合を直すのみではなく、建物の機能や性能を現在の施設が求められている水準まで引き上げる改修方法。

※1　包括的民間委託

自治体などがバラバラに行っていた複数の業務や施設管理を、一つの民間事業者にまとめて（包括的に）委託する手法のこと。

令和8年 9月定例会

一般質問ダイジェスト

一般質問は９月９、10、11日に10人の議員が登壇し、活発な議論を展開しました。

水谷あゆみ 議員
みずたに



給食について

Q 中学校１・２年生の※4学校給食費無償化はいつから始める予定か。また財源はどのようにお考えか。

A 市独自で対象拡大するためには、多額かつ安定的な財源の確保が必要であり、将来にわたり継続して実施していくためには慎重に判断する必要があると考えている。恒久的かつ十分な財政措置を国に対して引き続き要望していく。

Q 保育施設における白ごはん提供について、子育て支援の更なる充実、食品の安全性の向上、食育の観点からどのようにお考えか。

A 保護者負担の軽減につながると考えるが、材料費、光熱水費、調理業務増加、保護者の費用負担の有無など検討する必要がある。課題を考慮し、調査・研究を行う。

その他のQ&A
- ○教員の働き方
- ○保育士の働き方
- ○グリーンインフラ
- ○ギャンブル等依存症対策 等

映像配信

橋本幸子 議員
はしもと ゆきこ



※3超長期債券過剰購入問題

Q 市場金利の上昇に伴う本市保有の約91億円の超長期債券の評価損の推移と、今後の満期償還のスケジュールは。

A 本年４月末時点ではマイナス32億9,054万円、その後も長期金利の上昇等の影響により、評価損は拡大傾向にあり、７月末時点において、マイナス34億9,897万円となっている。

満期償還のスケジュールは、直近で令和13年度に１本の債券が償還を迎え、その後も順次償還期日を迎え、最終的には、令和33年度に３本の債券が償還を迎える予定となっている。

Q 基金運用の在り方をどのように見直し、改善したのか。

A 阿南市基金の一括運用及び債券の購入管理に関する要綱を定め、市長をトップとする基金運用検討会議を定期的に開催し、透明性、実効性のある組織的な意思決定体制を確立するなどした。

その他のQ&A
- ○市長の政治姿勢
- ○働きやすい職場環境づくり
- ○保育所の統廃合及び民営化
- ○認知症対策
- ○その他

映像配信

個人質問（60分）



登壇議員	ページ
水谷あゆみ 議員	4
荒谷みどり 議員	5
奥田　勇 議員	5
梶原ちひろ 議員	5
橘　敬治 議員	6
大橋　祥太 議員	6
大山　憲 議員	6
渡邉　芳彦 議員	7
金久　博 議員	7
星加　美保 議員	7



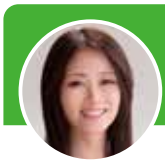
二次元コードを読み取ると、各議員の質問の様子をご覧になれます！

※4　学校給食費無償化

保護者が負担する学校給食の費用を公費で負担し、無料または一部軽減する取り組み。

※3　長期債券

長期債券とは、償還期間（満期までの期間）が10年以上の債券のこと。



梶原ちひろ 議員
かじはら

■不登校の早期支援について
■強度行動障害の受入れ体制

Q 不登校になる前に予兆段階から専門職につなぐ全市共通の目安を設け、兄弟姉妹を含め家庭全体を支援する仕組みを整えられないか。

A 共通の目安については、個人の状況や背景、必要な支援が異なるため、基準を設定することは困難である。また、※6スクールソーシャルワーカーが家庭全体への支援が必要と判断した場合は、関係機関等と情報共有を図る等、個々の状況に合わせた最適な支援方法を検討し、対応する。

Q 重度の強度行動障害がある方について、市は実際の受入れ余力を把握し、行き場を失う緊急時には、市が主導して受入れ調整や臨時的な支援を行えないか。

A 個々の事業所の受入れ余力を詳細に把握することは困難だが、緊急時には相談支援事業所と連携し、速やかに適切な事業所への橋渡しができるよう努めている。

その他のQ&A
- ○災害時の避難行動要支援者と地域防災
- ○予防接種と市民の健康を守る取組
- ○障がい者福祉の支援体制
- ○子供の発達と健康を支える取組

映像配信



奥田　勇 議員
おくだ いさむ

がん検診の啓発について

Q 直近５年間のがん検診受診者数の推移は。また、市公式ＬＩＮＥを通じて申込み予約ができるようにしてはどうか。

A 令和３年度から令和７年度までにおける、がん検診を受けられた方の延べ人数の推移は、令和３年度が１万364人、令和４年度１万262人、令和５年度１万36人、令和６年度9,775人、令和７年度8,843人となっている。がん検診受診者数が減少傾向になっているのは、国民健康保険の加入者数が減少していることによるものと考えている。

受診の申込み予約については、昨年度、スマートフォンからいつでも検診の予約ができるシステムを導入したが、市公式ＬＩＮＥを通じた予約方法についても、技術的には可能であり、早期の導入を目指し、検討していく。

その他のQ&A
- ○市長の政治姿勢
- ○安全・安心なまちづくり
- ○健康いきいきの明るいまちづくり
- ○美しく暮らしやすいまちづくり

映像配信



荒谷みどり 議員
あらたに

防災士資格取得補助制度

Q 意欲ある若者の活動を市として後押しするため、中学生や高校生の※5防災士資格の取得に係る費用を補助する制度を創設してはどうか。

A 中高生が防災士として地域の防災活動に参加することは、若い世代の防災意識を高めるだけでなく、周囲の大人や地域全体の防災意識・防災力の向上にもつながる。一方で、防災士の資格取得には研修費や受験料、登録料などの費用がかかり、中高生にとって負担となっている。

意欲ある中高生が資格を取得し、地域の防災リーダーとして活躍できるよう、取得費用を支援する補助制度の創設に向けた制度設計を進めていく。



防災士のイメージ

その他のQ&A
- ○こども施策の推進
- ○若者参画によるまちづくり
- ○市民の安全・安心な暮らしの確保
- ○公共交通
- ○その他

映像配信

※6　スクールソーシャルワーカー

いじめ、不登校、虐待、貧困等、子どもが直面する様々な困難を、「環境」の側面から捉え、解決を支援する福祉の専門職。

※5　防災士

特定非営利活動法人（NPO法人）日本防災士機構が認定する民間資格であり、災害に関する専門知識や技能を身につけた者。



大山　憲 議員
おおやま けん

ふるさと納税について

Q ※9ふるさと阿南応援事業基金の活用方針について、どう考えているのか。

A 将来のリスク管理の徹底をしつつ、この貴重な基金を本市の魅力をさらに高めるための生きた資金として、前向き、かつ戦略的に活用していくフェーズに入ったと認識している。

Q 未来の阿南市への戦略的な投資についてどのような構想を持っているのか。

A 将来の維持管理コストの縮減や後年度負担の軽減にもつながる重要な取り組みに投資を行っていく。例えば、図書のまち阿南構想の中核となる新図書館や那賀川町複合施設の整備、公共施設のLED化など、将来の阿南市への投資につながる事業に積極的に財源を充てる方針である。

その他のQ&A
- ○岡川の治水対策
- ○デジタル教科書
- ○災害対策
- ○阿南西部公園遊具整備の進捗状況
- ○その他

映像配信



大橋祥太 議員
おおはし しょうた

中心市街地のにぎわい創出

Q 中心市街地のにぎわい創出について、どのような施策を進めているのか。

A 夕暮市場や阿南市活竹祭、阿南駅周辺の観光・物産機能の充実、空き店舗バンクや空き店舗活用補助金による新規出店支援などに取り組むとともに、まちゼミやまちマルシェなど民間主体の取り組みに、広報協力や企画段階の意見交換など、支援を行っている。

Q ※8阿南まちバル in TOMIOKAのような民間主体の取り組みを継続、発展させていくため、今後、行政としてどのような対応をしていく考えなのか。

A 行政と民間がそれぞれの強みを生かし有機的に連携し、夕暮市場や活竹祭、まちマルシェなど、個別に開催している多様なイベントを意図的に連動させる提案等を踏まえ、民間の主体性を尊重しつつ、官民連携による中心市街地のにぎわい創出に努めていく。

その他のQ&A
- ○災害に強いまちづくり
- ○海水浴場の受入環境の整備
- ○阿南市中心市街地空き店舗等活用事業補助金
- ○道路行政

映像配信



橘　敬治 議員
たちばな けいじ

水産業振興について

Q 水産物の集荷力の向上や高付加価値化に向け、県立椿泊漁港荷さばき所をどのように活用、支援を行っていく考えか。

A 本市、市内7漁協、県漁連、徳島県が策定した※7広域浜プランに基づき、漁業の競争力強化に取り組んでいく。特に、県が県南地域で実施する水産物の集出荷実証試験について、関係機関との連携・調整を図り、市場機能の集約化を後押ししていく。

Q 新たに漁業に参入する新規就業者や事業を継承する若手漁業者に対する支援は。

A 各漁業協同組合が抱える具体的なニーズを的確に把握するとともに、国のリース事業や県の「とくしま漁業アカデミー」など既存の支援制度と本市独自の支援をどのように組み合わせれば最適であるか、多角的な視点から検証を行っていく。

その他のQ&A
- ○災害に強く安全・安心な阿南の創生
- ○こどもまんなか笑顔あふれる阿南の創生
- ○歴史・文化とスポーツでにぎわう阿南の創生
- ○その他

映像配信

議会メモ

※8　阿南まちバル in TOMIOKA

阿南市の中心エリアで開催される「食べ歩き・飲み歩き」のイベント。

※7　広域浜プラン

複数の漁業協同組合が広域的に連携し、事業統合や施設の有効利用を進めて漁業所得の向上や経営基盤の強化を目指す取り組み。



星加美保 議員
ほしか みほ

羽ノ浦小学校の建て替え

Q 現地建て替えを基本方針としての検討をどのように進めたのか。

A 市長の就任後「特定の協議の場」としてプロジェクトチーム等は設けていない。課内で、課題の抽出やその対応策について議論している。

Q 国において建物改築判断年数の基準は。

A 長寿命化改修を推奨。建物の寿命を約80年程度まで延ばせる。市は重要な選択肢と認識している。

Q 改築に関する予算計上がないのはなぜか。どうして計画に上げて予算を付けないのか。

A 現在も検討中であるため計上はしていない。

Q 小学校室内の雨漏り対策は。

A 雨水侵入経路を特定するため、天井ボードを取り外して修繕し、修繕が完了次第復旧する。

その他のQ&A

○図書のまち阿南

映像配信



金久　博 議員
かねきゅう ひろし

※10 阿南市里山林整備事業

Q 地域の森林環境の整備のほか、防災・減災の強化、さらには市民生活の安全・安心の確保という観点から、阿南市里山林整備事業の重要性はますます高くなっている。市は事業の規模をさらに拡大していくべきではないか。

A 本事業に対する市民の関心の高さは認識しており、限られた財源や人員の中で、より多くの要望に効率的かつ的確に応えるためには、関係インフラ事業者や地域との連携を強化していく必要がある。

森林環境譲与税を財源としており、今後は同譲与税を活用する他の事業との財源的な兼ね合いやこれまでの事業効果の検証、さらには今後の市民ニーズの動向などを総合的に勘案しながら、事業規模の拡大に向けた具体的な検討を進めていく。

その他のQ&A

○市長の政治姿勢
○デジタル化のさらなる推進
○医療的ケア児への支援
○阿南市子ども第三の居場所 あすきら
○教育行政

映像配信



渡邉芳彦 議員
わたなべ よしひこ

渇水問題への対応について

Q 将来にわたる水資源の安定確保と渇水対策について、上流ダム群の弾力的な運用や国・県との広域連携、工業用水の循環利用、緊急時の水資源確保など、産業基盤と市民生活を守るための具体的な対策は。

A 近年の気候変動により渇水リスクが高まる中、那賀川の水資源を安定的に確保することは、市民生活や農業、工業を支える重要な課題である。本市では、関係自治体と連携し、国・県に対し長安口ダムの堆砂対策や利水安全度の向上、小見野々ダム再生事業、森林整備など、流域全体の治水・利水機能の向上を求めていく。

また、工業用水の循環利用など水資源の有効活用にも取り組み、渇水対策を着実に進めるよう、引き続き国・県に強く要望していく。

その他のQ&A

○エコノミックガーデニングによる企業支援
○徳島バッテリーバレイ構想
○ゼロカーボンに向けた現状及びエネルギー対策の中長期的展望

映像配信

議会メモ

※10　阿南市里山林整備事業
木を伐採する費用に対して補助を行う危険木伐採事業と地元団体からの要望により市が伐採を行う公共インフラ施設周辺支障木伐採事業を実施。

※9　ふるさと阿南応援事業基金
阿南市に対するふるさと納税（寄附金）を原資として積み立てられ、地域の活性化や課題解決のための事業に活用される市の特定基金。

本会議・委員会の生中継・録画映像をスマートフォン等でご覧いただけます

本会議・委員会のインターネットによる生中継・録画映像配信を行っております。

（対象の委員会は、付託議案のある常任委員会、特別委員会及び議会運営委員会となります。）

パソコン、スマートフォン等で阿南市議会のホームページもしくは右記２次元コードからご覧いただけます。

また、ケーブルテレビでも本会議の様子を生放送しています。放送時間は午前10時から本会議終了までです。



議会映像インターネット配信アドレス
https://anan.media-streaming.jp/

議会映像インターネット配信２次元コード

アンケートにご協力ください

インターネット委員会映像配信についてのアンケートを実施していますのでご協力ください▶

映像配信についてのアンケート
２次元コード

会議録の閲覧ができます

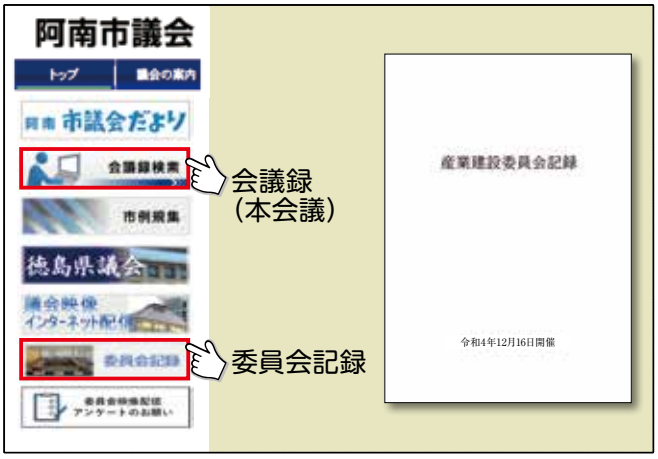
定例会での質問や答弁の内容を詳しく知りたい方は、次の方法で閲覧できます。

①製本会議録を閲覧する方法

市内図書館に製本会議録を配本しています。

②インターネットで閲覧する方法

阿南市議会ホームページ→会議録検索を選択すると閲覧することができます。



委員会記録をホームページに公開しています

委員会記録を市議会ホームページからご覧いただけます。閲覧が可能な委員会は付託議案のある次の委員会です。

常任委員会　産業建設委員会、文教厚生委員会、総務委員会

特別委員会　決算審査特別委員会、予算審査特別委員会

議会運営委員会

阿南市議会ホームページアドレス
https://www.city.anan.tokushima.jp/gikai/

阿南市議会 HP
２次元コード

定例会・臨時会提出議案の閲覧ができます

委員会での審査

9月定例会において各常任委員会及び決算審査特別委員会では、付託された議案の審査を行いました。以下審査の過程で出された主な質疑、意見等の内容を報告します。

産業建設委員会

市長提出議案3件を審査

◇令和8年度阿南市一般会計補正予算の関係部分で、農林水産業費に計上されている農業用施設新設維持費2900万円の事業の内容について質疑があり、施設改修工事費については、浸水被害の軽減を図るべく、土地改良区等が県の田んぼダム支援事業を活用して実施する排水マス、調整板等の設置及び畦畔の補強などの「田んぼダム」に取り組む経費について補助するものであるとの説明があった。

　また、他の委員から、商工業振興事業の徳島県新未来創造推進交付金を活用した阿南市活竹祭の事業計画について質疑があり、徳島県新未来創造推進交付金については、本年度から3年間の交付内示を受けている。事業計画として、本年度はJ-POWER制作の本市PR動画の上映や地域共生パネル展を行うほか、令和9年度は熊本県合志市や和歌山県高野町の参加を呼びかけ、令和10年度は市制施行70周年を記念し物産販売や交流企画をさらに充実させる計画としているとの説明があった。

文教厚生委員会

市長提出議案9件、請願1件を審査

◇阿南市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について、令和7年9月に制定された既存の阿南市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準との違いは何かとの質疑があり、既存の阿南市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準は、児童福祉法に基づくもので、事業を行うための認可の基準であり、事業所の広さや職員の配置など、事業を始めるに当たって満たさなければならない基準を定めている。今回の条例は、子ども・子育て支援法に基づくもので、給付の対象となった事業者が日々の運営に当たって守るべきルールを定めており、利用定員の設定や、事故が起きた際の対応などを定めているとの説明があった。

◇令和8年度阿南市一般会計補正予算の関係部分で、公民館管理費、施設改修工事費の1860万円について、この改修工事はどこの公民館なのか、また、具体的な改修工事内容についての質疑があり、椿公民館2階の大会議室及び1階の談話室の空調機が経年劣化により故障しており、全ての空調機が作動しないわけではないが、いつ動かなくなってもおかしくない状態であり、空調機自体を更新する工事を予定しているとの説明があった。

◇カルテ等医療記録の保存期間見直しと保存体制の整備を求める意見書の提出を求める請願では、電子カルテの標準化や医療記録の長期保存に必要なシステム整備、また、情報セキュリティ対策への財政措置を国へ要望する必要があることから、本請願には賛成であるとの意見が、また、他の委員から、阿南市では現在も紙カルテを使用している医療機関が多く、地域の医療現場の意見や実情を十分に踏まえる必要があることから、本請願には反対であるとの意見が、また、他の委員から、医療現場の負担や実務的な支援、費用負担の課題に関して、もう少し判断材料が必要であり、審査を継続すべきとの意見があった。

総務委員会

市長提出議案3件を審査

◇令和8年度阿南市一般会計補正予算の関係部分で、防災費の財源である地方債860万円の対象となる事業は何かとの質疑があり、緊急防災・減災事業債を活用するものであり、防災行政無線の撤去業務委託料820万円と事務費40万円であるとの説明があった。

　これを受けて委員から、撤去場所と撤去理由についての質疑があり、羽ノ浦町のしらさぎ集会所の廃止に伴い、敷地内にある防災行政無線を撤去するものである。また、撤去に伴う音達区域の確保に向け、集会所の近隣2カ所の防災行政無線スピーカーの機能強化も本事業に含まれているとの説明があった。

決算審査特別委員会

市長提出議案19件を審査
一般会計歳入歳出決算

◇新行財政改革推進プランの財政健全化の数値目標に、財政調整基金の取崩し額を設定した理由についての質疑があり、令和6年度開催の阿南市行財政改革懇話会において、外部資金の活用による特定財源の確保を

はじめとする歳入確保の取り組みと人件費の見直しや内部管理経費の削減等をはじめとする歳出の見直しを強力に推進し、歳入歳出のバランスが取れた財政構造を実現するため、重点項目として初めて目標数値として位置づけたものであるとの説明があった。

◇耐震改修支援事業において不用額が多く生じている現状を踏まえ、補助制度の周知及び要件の改善についての質疑があり、市ホームページ、広報誌、ＬＩＮＥでの情報発信に加え、市でのイベント等に相談ブースを設け、支援制度の周知に努めている。また、要件の改善については、国・県の補助金を活用しているため、市独自で変更することについては、一定の制限があるとの説明があった。

◇減災化対策支援事業において、補助金の交付実績がなかった要因についての質疑があり、補助対象世帯が自力での耐震化が困難な世帯と限定されていることや、施工箇所や施工内容によっては自己負担額が大きくなることなどが申請に至らない大きな要因となっているとの説明があった。


決算審査特別委員会のようす

◇基金運用収入７７０１万３１５１円の内訳についての質疑があり、債券運用による利息収入が６６９６万１０００円、定期預金による利息収入が１００５万２１５１円であるとの説明があった。

◇小学校営繕事業のうち、羽ノ浦小学校の修繕費についての質疑があり、修繕費の合計は、５３２万１２１４円であり、トイレ、エアコン、防火設備、電気設備、建具、雨漏り修繕等を実施したとの説明があった。

◇ふるさと納税の実質収入、活用した事業及び基金の積立てについての質疑があり、寄付金の受入額は、９億３２９３万７６００円で、ふるさと納税の推進に要した費用４億４９４８万６３３７円を差し引いた寄付金活用可能額は４億８３４５万１２６３円、この額に基金運用収入１９０万９６１５円を加えた４億８５３６万８７８円をふるさと阿南応援事業基金に積み立てている。当該基金を活用した主な事業は、ＳＵＰレースの開催、ふるさと光流会の開催、住宅用太陽光発電システム導入補助金、創業支援セミナーの開催などの36事業を実施しているとの説明があった。

◇電子計算業務費の使用料及び賃借料に３８００万７８７２円の不用額が生じた理由について質疑があり、ガバメントクラウド利用が想定を下回り、従量課金による費用が抑えられたことに加え、事業者側のシステムエンジニア不足等の影響により、令和７年10月予定であった標準準拠システムへの移行が翌年度以降にずれ込んだことが不用額が生じた要因であるとの説明があった。

◇エコパーク阿南管理費において、プラ容器包装の搬入実績と資源化実績の差について質疑があり、引受業者の受け入れ基準に応じて選別の厳格化に努めていることから、結果として３２７トンの未資源が生じたものであるとの説明があった。

◇障害者基幹相談支援センター業務委託料５９３万１００円の委託業務の実施状況についての質疑があり、相談件数は延べ２１７件、困難事例への対応を含む地域まるごと支援会議への出席が45件、事業所への専門的助言や同行支援といった相談支援事業者への後方支援の実施が35件であるとの説明があった。

◇住宅施策推進費について、翌年度繰越額が７５５３万９０００円となった理由について質疑があり、これは耐震化支援に係る補助事業であるが、耐震診断結果の整理、確認、改修方針の検討や概算工事費の把握など、一定の準備期間を要するため、年度内の完了に至らず、結果として翌年度へ繰越となる事案が多く発生しているとの説明があった。

◇調整債１億５１７０万円の償還予定年数、利子総額の見込みについて質疑があり、償還期日は、令和23年３月までの15年として設定しており、利子については、総額で３５９６万２５６７円となる見込みであるとの説明があった。

特別会計歳入歳出決算

◇奨学資金貸付事業の貸付金額と償還金額から市外への流出防止の効果は出ているのかとの質疑があり、貸付金額は、申請者が貸付限度額の範囲内で任意に借入額を設定する仕組みであることから、貸付額や償還額の金額により、流出防止の効果等を測定するのは困難であるが、年度毎の免除認定者数は総じて増加の傾向にあることから、定住促進に一定の成果が表れているものと認識しているとの説明があった。

令和８年度

委員会行政視察報告

常任委員会及び議会運営委員会

議会では、提出された議案等に対し、詳細な審議を効率的に行うため、委員会制度を設けています。

現在、常任委員会は総務委員会、文教厚生委員会、産業建設委員会の３委員会が設置され、付託された議案の審査のほか、閉会中も所管事項に関し、調査を行っています。

議会運営委員会は、本会議の会期や日程の決定、その他議会運営全般について協議、決定する委員会です。議会運営は各市が独自に行っていますが、本会議を円滑に進めるために設置された議会を代表する委員会です。常任委員会と同様に所管事項に関し、調査を行っています。

総務委員会

◇視察日
令和８年５月18日～19日

◇参加議員　橋本幸子・大橋祥太・平山正光・湯浅隆浩・大山憲・喜多啓吉・広浦雅俊・陶久晃一・梶原ちひろ

◇視察先・視察目的
【茨城県常総市】
防災先進都市を目指す取組について
【茨城県つくば市】
自治体ＤＸについて


常総市での視察の様子

◇視察先・視察目的
【滋賀県高島市】
地域生活つむぎあいプロジェクト事業について
【京都府向日市】
粗大ごみ予約システムの取組について


高島市での視察の様子

文教厚生委員会

◇視察日
令和８年５月21日～22日

◇参加議員　金久博・橘敬治・星加美保・西川達也・佐々木志満子・奥田勇

産業建設委員会

◇視察日
令和８年５月12日～13日

◇参加議員　荒谷みどり・渡邉芳彦・武田光普・渡部友子・住友利広・水谷あゆみ・藤本圭・久米良久・幸坂孝則

◇視察先・視察目的
【茨城県日立市】
ひたちＢＲＴについて
【茨城県水戸市】
水戸のまちなかリビング作戦について



ひたち Bus Rapid Transit
（バス高速輸送システム）

議会運営委員会

◇視察日
令和８年７月９日～10日

◇参加議員　西川達也・平山正光・湯浅隆浩・武田光普・橘敬治・広浦雅俊・橋本幸子・奥田勇・久米良久・幸坂孝則・陶久晃一

◇視察先・視察目的
【埼玉県草加市】
①議会改革の取組みについて
②一般質問のあり方について
【埼玉県戸田市】
①議会改革の取組みについて
②一般質問のあり方について


草加市での視察の様子

9月定例会議決結果一覧

条例議案		
第　1号議案	阿南市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	（原案可決）
第　2号議案	阿南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	（原案可決）
第　3号議案	阿南市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	（原案可決）
第　4号議案	阿南市認可地縁団体印鑑条例の一部改正について	（原案可決）
第　5号議案	阿南市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	（原案可決）
第　6号議案	阿南市予防接種実費徴収条例の一部改正について	（原案可決）
第　7号議案	阿南市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	（原案可決）

補正予算議案		
第　8号議案	令和８年度阿南市一般会計補正予算（第２号）について	（原案可決）
第　9号議案	令和８年度阿南市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）について	（原案可決）

決算認定議案		
第 14 号議案	令和７年度阿南市一般会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 15 号議案	令和７年度阿南市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 16 号議案	令和７年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 17 号議案	令和７年度阿南市伊島診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 18 号議案	令和７年度阿南市加茂谷財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 19 号議案	令和７年度阿南市伊島財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 20 号議案	令和７年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 21 号議案	令和７年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 22 号議案	令和７年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 23 号議案	令和７年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 24 号議案	令和７年度阿南市奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 25 号議案	令和７年度阿南市豊香野地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 26 号議案	令和７年度阿南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 27 号議案	令和７年度阿南市西春日野生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 28 号議案	令和７年度阿南市夜間休日診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 29 号議案	令和７年度阿南市椿診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	（原案認定）
第 30 号議案	令和７年度阿南市水道事業会計決算の認定について	（原案認定）
第 31 号議案	令和７年度阿南市公共下水道事業会計決算の認定について	（原案認定）
第 32 号議案	令和７年度阿南市羽ノ浦農業集落排水事業会計決算の認定について	（原案認定）

その他の議案		
第 10 号議案	市道の路線の廃止について	（原案可決）
第 11 号議案	市道の路線の認定について	（原案可決）
第 12 号議案	動産の買入れについて	（原案可決）
第 13 号議案	動産の買入れについて	（原案可決）

人事議案		
第 33 号議案	財産区管理委員欠員の選任について	（原案同意）
諮問第　1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	（適　　任）

請　　願		
請願第　2号	カルテ等医療記録の保存期間見直しと保存体制の整備を求める意見書の提出を求める請願（継続分）	（採　　択）